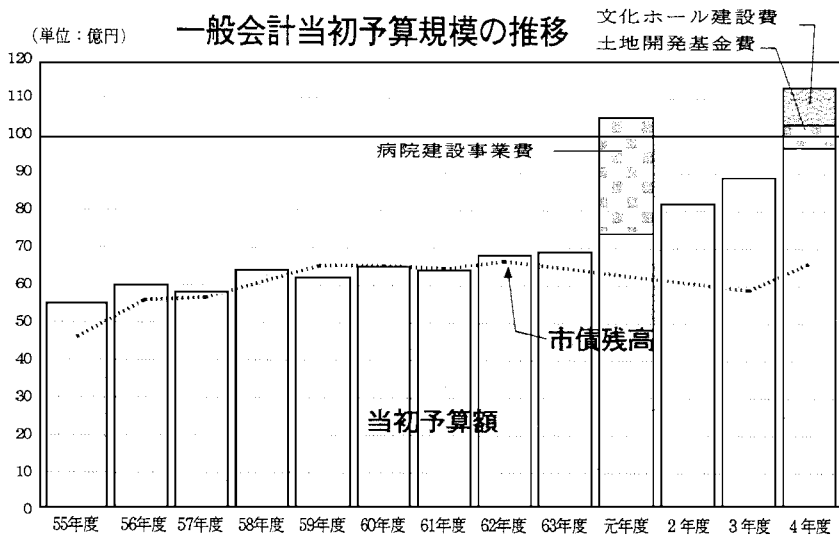


340「リニア新時代」

三月定例市議会において、平成四年度の当初予算案が審議され、一般会計外一〇特別会計及び病院事業会計など二企業会計の予算が決定されました。市民生活に密着した諸事業を推進し、地域振興のため積極的に取り組んでいきます。平成四年度の一般会計予算はどのように構成されているか表してみました。



今年度の主要事業を 7つ選んで みました!

●文化ホール建設●

文化都市にふさわしいホール建設にいいよ着手します。建設予定地は都留文科大の市有地で、本年度は用地関係及び進入路整備等を行います。本体建設は平成五、六年度で、七年度には開館する予定です。総事業費三十七億円、三カ年継続事業。

●土地開発基金増額●

リニア関連や中央道フルインター対策等二十一世紀に向けて本市の大型事業は目白押しです。将来の都留市発展の礎を築くため、公共用地の確保を円滑に推進できるように、土地開発基金増額に六億七千万円を計上し、同基金の設定額を十億円としました。

●市立病院増床●

開院から二年経過した市立病院は、順調に業績を上げ、本年度当初予算では一般会計から赤字補填しなくても済むようになりました。本年度はさらに経営規模拡大のためベッドを五十五床増やして百十五床とするため二億四千五百万円を計上しました。

●ゴミ減量化対策●

今やゴミ対策は、全国どこの自治体にとっても頭の痛い問題になっています。本市においても例外ではありません。本年度は、モデル地区を設け、減量化、再利用化を啓蒙するとともに、市内ゴミステーションごとに環境美化協力員を委嘱します。

●老人デイサービス助成●

老人保健施設「つる」の利用拡大を図るため、デイサービス(日帰り)を利用する方々に対してその利用料を全額助成します。これには、リハビリ指導、入浴及び昼食代も含まれます。月々金曜日の毎日、十人程度の方々を受け入れる予定です。

